



さくほ 議会だより



正月飾り用若松の栽培



どんな願いを込めてマユ玉飾る？

12月定例会のあらまし	2P
12月補正予算・第7回臨時会	3P
一般質問（7人が町政を質す）	4P～
総括質疑	7P
委員会活動から	8P
一部事務組合 議会報告	9P
しらかば	10P

平成24年2月9日

第27号

発行：佐久穂町議会
議長 今井 邦三
編集：議会広報編集調査特別委員会
印刷：(有)東城印刷佐久穂工場
〒384-0697
長野県南佐久郡佐久穂町
大字高野町569
TEL 0267-86-2525
FAX 0267-86-4935

平成23年

12月定例会

定例会のあらまし

東日本大震災、原発事故、様々な苦難のあった年の暮れ、第8回定例会が12月9日より開会されました。

原発事故による放射能汚染が心配されていますが、町長より招集あいさつのなかで放射線測定の結果について、健康に影響なく、除染の必要がない値であったと報告がありました。

最近何かと話題になる地下水源保全について、佐久管内の市町村と東御市、佐久及び浅麓水道企業団で協議を重ねてきました。関係市町村間の情報の共有、国・県に水源保全の法、条例の制定を要望することなど5項目の共同声明の発表に至りました。

統合小中学校整備事業は、第一期基盤造成工事と関連工事が始まりました。

千曲病院について、平成23年度上半期の状況は、前年同期と比較して入院

患者で460人の減、外来患者で569人の増となっています。経営状況は、収益が7億1,475万9千円、費用は7億2,668万4千円で、1,192万5千円の赤字ですが、前年比1,288万6千円改善されています。

提出された議案等

一般会計及び国保会計など4件の特別会計補正予算案、病院事業会計補正予算案が提出されました。

条例案等では、税条例の改正案、町営住宅管理条例の改正案、若者定住促進住宅の設置管理条例の改正案、町霊園条例の改正案、大岳センター条例の制定、消防団員等公務災害補償条例の改正案、佐久市との定住自立圏形成協定締結の議決案が提出されました。



条例

税条例の改正
平成24年度分の固定資産税に限り、第1期納期を変更すること、法人税の税率特例を2年間延長する改正。

町営住宅管理条例の改正
佐久東小学校の閉校にともない、隣接する大日向教員住宅を単独の町営住宅に変更するもの。

若者定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の改正
若者定住促進住宅8棟のうち譲渡価格設定のない3棟について、価格設定するもの。

霊園条例の改正
海瀬総合グラウンド東隣りの、東馬場霊園の造成工事で区画が増加したことにもなう改正。

大岳センター条例の制定
新築された上本郷の大岳センターの管理等に関する条例を定めるもの。

消防団員等公務災害補償条例の改正
障がい者自立支援法が改正されたことにともない、関連する条項の改正をするもの。

定住自立圏協定の締結
佐久地域定住自立圏を形成するため、中心市となる佐久市との間で協定を結ぶものです。

地域公共交通網の構築、鹿の食害対策の強化、広域的な水源保護など、佐久穂町単独では難しい事業に、佐久圏域の市町村が相互に連携、協力して取り組もうというものです。

特別会計の補正では、国保会計が高額医療費の増額、介護保険会計が、居宅介護の住宅改修への負担金の増額などです。

補正予算

一般会計のほか、国保会計・介護保険会計・簡易水道会計・農業集落排水事業会計の4特別会計と病院事業会計の補正予算。

一般会計の主な補正内容は、保育所臨時職員の賃金、太陽光発電システム設置補助金、統合小中学校整備事業費、プレミアム商品券発行追加補助金の増額などです。

特別会計の補正では、国保会計が高額医療費の増額、介護保険会計が、居宅介護の住宅改修への負担金の増額などです。

一般質問

7人から提出され、高齢者介護における今後の問題、東電福島第一原発事故による放射能汚染対策、住宅リフォーム助成について、地域防災計画、公務員等へのメンタルヘルス、介護保険の問題、庁舎の建設などのテーマで町の方針、政策などを質問しました。



12月定例会

12月補正予算

一般会計…8,371万円減額

12月定例会に提出された補正予算案は、一般会計1件、病院会計を含む特別会計5件の計6件でした。慎重審議の結果、全議案全員賛成で可決しました。

一般会計

一般会計では、歳入歳出それぞれ、8,371万円の減額で、主な減額内容は国庫補助金3,030万円、土木費の中の、辺地対策事業、まち交佐久穂事業終了による精査で、辺地対策事業債6,880万円の減であります。子ども手当及び児童手当特別交付金754万円、保育所入所児童負担金が345万円が増額に。

歳出の主なものは、土木費1億1,612万円の減で、事業精査によるものです。プレミアム商品券発売に伴い、商工費1,700万円、消防費の災害対策費に168万円、統合小中学校整備事業に752万円、衛生費で千曲病院へ887万円の繰出。太陽光発電補助金に300万円が、主な増額補正です。

特別会計

国民健康保険会計は、被保険者療養費が不足したため、健康保険基金からの1,062万円の繰入です。簡易水道会計は、工事請負費が不用となり1,943万円を減額補正。

介護保険会計は、10万円の増額補正。農業集落排水会計は、予算額の増減はありません。

病院会計

病院会計では、523万円の減額補正ですが、収入で、訪問看護ステーション移管に伴い、町一般会計より350万円の出資金増。社協より550万円の負担金です。

支出では、平成24年4月より、医師一名増員に伴い、医師住宅改修費として598万円を、訪問看護ステーション用車両2台購入のため、230万円の予算です。



第一期造成始まる

第7回臨時議会

平成23年度第7回臨時議会が、11月25日に開かれ、補正予算1件、その他2件の議案が提出されました。

平成23年度一般会計補正予算では、予算の増減はありませんでしたが、予備費164万円を流用し、民生費、衛生費、教育費に活用したものです。

障がい者共同生活介護等支援施設（前共同作業所ほほえみ）指定管理者の指定について、特定非営利活動法人ウィズ



千曲病院訪問看護ステーション



共同生活介護等支援施設

ハートさくとするものです。統合小中学校整備事業で第一期、基盤造成工事契約の締結について、畑八開発株式会社と契約するものです。

三議案審議の結果、全員賛成で可決しました。

一般質問

今後、施設サービス待機者増加が予測されるが対応は

町長 施設サービスの需要は当然増加します。特養施設を検討します。

小林 守正



町長 50人です。平均待機期間は2年2カ月で、7年以上の方もいます。

増床96床、小諸市に1カ所（新設80床）予定されています。

問 団塊の世代が後期高齢者となれば、待機者はさらに増加が予想される。町の考えは。

当町では、70〜100床規模の特別養護老人ホームを建設すべく、県費補助金の希望を出しています。

問 高齢者介護の今後に不安がある。当町における介護サービス等の状況は。

健康福祉課長 介護認定者数（要介護3〜5）は10年間で142人↓338人と倍以上になっています。重度化が更にすすむ予測がされます。通所介護の給付費は、平成12年度で6,610万1千円で、平成22年度は2億671万2千円と増えています。

町長 介護力低下世帯が増加し、施設サービス需要の増加も当然考えています。

問 佐久地域で新たな特別養護老人ホームの建設計画はあるのか。町内ではどつが。

町長 待機者の多い佐久市に2カ所（新設100床、



建設中の特別養護老人ホーム（佐久市平賀）

原発事故による放射線対策は

町長 空間放射線測定器を購入し定期的に測定します

井出 清嗣



簡易測定器複数台購入の考えは

問 町で簡易測定器を複数台購入し、希望者に貸し出してはどうか。

町長 空間放射線測定器を購入することにしており、簡易測定器では誤差が大きいのので、計画していません。購入する機器が到着するまで、委託で測定し公表します。

問 学校、保育園の給食用食材の検査器を、町で購入すべきではないか。

町長 県で給食用食材の検査を行っているので、これを参考に判断します。現段階では、購入を考えていません。

問 佐久市の野生キノコから基準値を超える値が検出されたことで、町産のキノコにも風評被害があった。町は把握しているか。

町長 町内産のものは収穫がほぼ終わっているため、被害の報告はありません。

県と相談しながら対応いたします。



空間放射線測定

佐久市との間ににおける定住自立圏形成協定とは。

問 鳥獣被害防止対策の広域的取り組み、地域公共交通ネットワークについて、検討されたのか。

町長 枠組みが整った段階であり、具体的展開は平成24年度以降となります。

問 線量の測定や、検査機器の整備など協力できないか。

総務課長 協定書の変更となりますので、議会決議が必要となります。

住宅リフォーム助成制度の導入で、 地域を元気にすることが出来るのでは

町長 プレミアム付商品券を使うことが
住宅リフォーム助成と考えます

高見澤 春 野



地域経済活性化対策として

問 予算の10倍、20倍、それ以上の経済効果が認められている、住宅リフォーム助成制度を導入すれば、中小業者の仕事おこし、地域経済活性化に直結するので決断してはどうか。

町長 10%プレミアム付き商品券で使うことが、住宅リフォームそのものの助成と考えます。

問 商品券の対策と合わせて更に広げられるのでは。

町長 両方を同時にやる訳にはいきません。

買い物難民対策として

問 福祉と経済対策を合わせた取り組みとして、地元商店等と連携し、出張販売・宅配などへの支援が出来ないか。

町長 その時々

い物環境を検討し、買い物難民が発生しないよう努力していきます。

問 住民のくらし応援のひとつとして、少人数家族のために、小さいサイズのゴミ袋を増やしてはどうか。

住民福祉課長 小さいサイズについては、他の自治体を参考にして、つくることすすめています。

他に、貸し館(町が貸し出す施設)の利用料の見直しについての質問をしました。



ゴミ袋のサイズを検討中

農業用水路にあふれた水が 地すべりを誘発しないか

町長

貯水機能もあり、雨水を排水
するよう気を配ります

浅井 正昭



農業用水の崩落防止策は

問 台風など大雨により、農業用水にあふれた水が、地すべりを誘発しないよう対策が必要では。

町長 水路に流入した雨水による崩落防止のため、土砂ばけの確認をします。

問 防災情報の収集伝達に、衛星携帯電話の整備を。

町長 通信手段として、5台備えている。アマチュア無線局の協力を受けるよう

防災計画を見直します。

問 自主防災組織による救助や、安否確認に役立つマップの作成状況は。

町長 災害時住民支え合いマップは、年内作成に向けて進んでいます。

こどもの健康づくりは

問 うつ病の悩みに対応できる、ゲートキーパーの育成方針は。

こども課長 保育園では、年齢に応じたいろいろの体験、経験を地域の各種行事に参加して実施していきます。

問 ストレスに負けない子どもの教育をどう考えるか。



山間の用水路

教育次長 学校教育目標として、強い心、耐える心、助け合う心を掲げて、心と体のバランスのとれた成長を目指しています。

公的不動産(PRE)の利活用や管理について

町長 検討委員会の設置や台帳の電子化を計画

岡部 勝一



関係医療機関とも相談し、検討したい。全国5カ所施設で、調査中です。

います。

PRE戦略の取り組み

問 学校統合などで、公的不動産(PRE)のさらなる、利・活用が必要だ。また、管理はどうするのか。

場面減黙症について

問 発達障害の一つに、場面減黙症があるが、どのような対応が考えられるか。

町長 特別教育コーディネーターや、東信教育事務所を交えた、支援チームでオンラインワン事業を実施して

町長 学校の跡地施設等利用検討委員会が発足し、検討を始めました。

町民の財産の公共財産は、台帳の電子化で、より適切な管理をしていきます。

問 町財政に関して、公会計制度が必要は。

総務課長 公会計制度は、町村の努力目標でした。

町独自に、2年作成しましたが、高精度のため、ソフトの導入も検討します。

聴覚診査は

問 難聴が原因での認知症が増加している。簡易聴覚診査の導入は。

健康福祉課長 千曲病院等、



佐久東小学校

新たな介護保険 現行のサービスは...

町長 現在のサービスを維持します

岡部 学



問 4月から始まる介護保険第5期事業では、要支援1、2と判断された人へのサービスを、保険の対象から外せるようになるが、現行のサービスを維持すべきでは。

町長 要支援者へのサービスは、今までと同様保険の対象とし、現行のサービスを維持していく考えです。

山間地の高齢者の安心を

問 山間地域の集落内の除雪を町で実施できないか。

町長 集落内の除雪は、今までどおり地域の共同作業でお願い致します。どうしてもならない大雪の場合には、対応したいと思います。

場所を移動するのに次の運行までの空き時間を利用し、歩いています。
回数券の活用をお願いしたいと思います。

住民の健康管理の充実を

問 住民の健康診断の申込項目に、住民健診、人間ドックと別に、肺CT検査を加えたらどうか。

健康福祉課長 肺CT検査は費用が高いこと、レントゲン検査の精度が向上していることで、住民健診、人間ドックで行う考えです。

総務課長 利用される方は、複数の

問 デマンドタクシーの利用負担軽減のために、一日券を発行できないか。



除雪作業車

職員の自己啓発、 能力開発の施策は・・・

町長 積極的に自己啓発と能力開発に取り組めます

井出和廣



問 職員自己啓発と能力向上対策は。

町長 職員の能力開発と、計画的な人材育成が不可欠であると考え、長期的な視点に立って、継続してあらゆる研修に参加させ、職員個々の自己研さんが効果的に図られ、町民の信頼と負託にこたえられる人材育成に取り組めます。

問 職員の資格認証制度の導入は考えられないか。

副町長 全職員を対象に、職務に応じた能力評価と目標への取り組みを評価する業績評価等取り入れた、新たな評価制度構築を検討します。

問 消火器更新、薬剤詰め替え時の一部助成は出来ないか。

町長 消火器の普及はかなり進んでいるものと思われず。そのような状況をふまえますと、広く効果が求められる補助金の適正執行の観点から、補助の実

施は厳しいものと感じています。

庁舎建設の考えは

問 庁舎は、災害対策の指揮及び情報伝達、救護、消火活動等の災害応急対策の拠点です。中・長期的視点に立っての庁舎建設の考えは。

町長 遊休施設、廃校となる学校施設、跡施設の利用を検討すべき施設や土地が多数あります。これら利活用を検討するとともに、住民サービスを提供するために、財政的要素を考慮し、庁舎建設を考えます。



佐久庁舎

総

括

質

疑

問 病院事業会計で、修繕費が減額となる漏水の原因と、発見の経緯について。

答 同規模の病院と比較して多かったため調査。埋設部に3カ所漏水を確認。数年かけて徐々に量が増えたと思われず。毎日の水量を確認し、再発防止につなげます。

問 病院事業会計の、修繕費の増額と、内科医師1名の増員の理由は。

答 手術室の滅菌と、雑菌の消毒、調査です。

佐久総合病院の再構築計画への対応で、常勤医師の増員としました。

問 大岳センターの条例制定と、指定管理者制度についての理由は。

答 社会資本整備交付金を活用し、事業主体が町です。地方自治法の規定により、条例の制定と、それによる指定管理者の導入が必要になりました。

問 国保財政の、今後の見通しは。

答 医療費抑制に努力します。

問 介護保険給付費の、居宅介護住宅改修事業での増額補正の理由は。

答 年度により申請件数、額にバラツキがあり、本年度の変動理由は、特定できていません。12月までの実績等から、不足が予測されるため。

問 佐久地域定住自立圏協定で、げんでの号は、佐久穂町以外にも行けるのか。

答 平成24年度に、圏域全体の調査・検討をします。



大岳センター

委員会活動から

総務文教常任委員会

平成23年度 一般会計補正予算

総額8,371万6千円の減額補正です。

減額の主なものは、土木費の精査によるもの、1億1,612万円です。

増額の主なものは、保育所臨時職員賃金432万円、千曲病院繰り出し金887万円余、統合小中学校整備事業752万円余、ソーラー発電補助金300万円等です。

国保会計補正予算

主に、高額療養費増により、1,062万5千円の補正です。

基金からの繰り入れて賄いますが、基金残高は500万円弱となります。

条例改正・制定

税条例の一部改正

固定資産税に限り、納期の改正。法人税割の税率特例を延長するものです。

町営住宅条例の一部改正

大日向教員住宅を町営住宅に用途変更するものです。

若者定住促進住宅の設置管理に関する条例改正

一部譲渡価格の制定がされていないため、改正します。

霊園条例の一部改正

区画が増加したため、改正します。



大日向教員住宅

大岳センター条例の制定、大岳センター完成により必要な条例を制定します。

消防団員等公務災害補償条例の一部改正

障がい者自立支援法の一部改正により、引用条項に相違が生じたため改正します。

佐久市との間における定住自立圏形成協定の締結

佐久地域定住樹立圏を形成するため、佐久市と連携し、自立圏形成協定を締結します。

経済福祉常任委員会

佐久穂の商品券 2億円追加販売



町の活性化を、新入学シーズンを費の手助けを目的に「佐久穂の商品券」が販売されます。(1/29に販売) 町内商工業振興が期待されます。



三本木医師住宅

佐口地区農集排水 公共下水道へ接続

佐口地区農業集落排水施設(佐口浄化センター)は、平成7年12月供用開始し、16年が経過しました。

佐口区、上野区、大久保区の要望に添えて、公共下水道移管を、平成26年4月を目標として、事務を勧めます。

内科医師が 増えます

千曲病院では、地域医療の充実を図るため、本年4月から内科医師が1人増え、常勤医師6人体制で診療にあたる予定で、増員に備え、医師住宅改修工事、598万円の補正予算を可決しました。

一部事務組合 議会報告

佐久広域 連合

平成23年度 第3回定例会

一、契約締結1件。
小型動力ポンプ付水槽車の購入契約。

二、平成22年度決算認定6件。一般会計・特別会計5件。

三、平成23年度補正予算6件。一般会計・特別会計5件。

提出された案件は、全議案・原案可決となりました。

佐久水道 企業団

平成23年度 第2回定例会

一、平成22年度決算認定。当年度純利益を減債積立金、建設改良積立金に積み増しするものです。

二、平成23年度補正予算1件。

簡易水道2カ所の水源開発費、給水車及び備品の購入費。

提出された案件は、全議案可決となりました。

平成23年度 第3回臨時会

御代田町議会選出議員交代による、委員会の新しい構成が決まりました。

監査委員の再任が同意されました。

佐久平環境 衛生組合

平成23年度 第2回定例会

一、平成22年度決算認定1件。実質収支額895万円とするもの。

二、平成23年度補正予算1件。前年度繰越金、市町村分担金の確定による増額。

提出された案件は、原案認定・可決されました。

南佐久環境 衛生組合

平成23年度 第2回定例会

一、平成22年度決算認定2件。一般会計・特別会計1件。

二、報告1件。

平成22年度資金不足比率資金の不足はなく、健全経営に努める報告。

三、条例改正1件。

衛生センターの施設廃止に伴うもの。

四、平成23年度補正予算2件。一般会計・特別会計1件。

提出された案件は、全議案・原案可決となりました。



本会議場において賞状の伝達

今井邦三 議員 表彰される

自治功労者表彰

多年、議会議員として地方自治の振興、発展のため、大きな役割を果たしていることが高く評価され、長野県町村議会議長会より表彰されました。
誠に、おめでとうございます。

出逢い

山浦明子



あるテレビの番組を観ていて、ふと思った。出逢いを求めて旅をする、その番組からは、人と人とのふれあい、温もりが伝わってくる。

人生は、脚本のない人と人との出逢いそのものである気がする。どんな人とも出会うかで、その人の一生を左右することもある。

ある少年院の院長先生の講演の中で、強く印象に残っている言葉がある。

犯罪を犯し、少年院に入ってきた子どもたちは、生まれながらにして悪い子はいない。その子の成長過程で、唯一人、たったひとりで良いから、その子の話しをじっくり聴いてあげる人、その子に心から寄りそってくれる大人に、一人でも出逢っていたなら、犯罪に手を染めることは無かっただろう、と。



複雑な環境の社会の中で児童虐待等、信じられないニュースが後をたたない。悩みを抱え、一人で苦しんで、自分の子を死に至らしめる前に、勇気を持って周囲の人、或いは、行政に頼っていたならば、最悪の結果は防げたであろう。そんな事件が多い。あの東北大震災から約一年近く、「絆」という、このことばが大きいくローズアップされた。日本人の良さを見失わずに、困っている時はお互い、せめて声を掛け合いた

いものだ。十年程前、ボランティア活動で出逢った人がいる。その彼女が三年程前、難病に掛かってしまった。医師から告知され一年位はうつ状態、しかし、それも克服し、この頃は電話の声も明るく「ほっ」としている。

閉会中の議員活動 9月～12月 (主なもの)

- 9月
 - 交通安全協会人波作戦
 - 佐久穂町戦没者追悼式
 - 各保育園運動会
 - 南佐久郡町村議会議長会定例会
 - 月例出納検査
 - 広報編集調査特別委員会
 - 県町村議長会
 - 政務調査会・合同部会
 - 各中学校文化祭
- 10月
 - 栄保育園運動会
 - 佐久広域連合議会
 - 全員協議会・定例会
 - 南佐久環境衛生組合
 - 議会運営委員会
 - 佐久水道議会臨時会
 - 町村監査委員全国研修会
 - 佐久平環境衛生組合
 - 議会定例会
 - 南佐久環境衛生組合
 - 議会定例会
 - 福祉と健康のつどい
 - 町長杯ゲートボール大会
 - 開会式
 - 県議長会定例総会
 - 群馬県南牧村議会との懇談会
- 11月
 - 月例出納検査
 - 部落解放人権政策県行動
 - 佐久東小閉校記念式典
 - 統合小中学校建設検討委員会
 - 佐久水道議会視察研修
 - 佐久平環境衛生組合
 - 議会運営委員会
 - 学校跡地施設等利用検討委員会
 - 佐久広域連合議会視察研修
- 12月
 - 県道下仁田佐久穂線要望活動
 - 佐久平環境衛生組合
 - 議会定例会
 - 全国議長大会
 - 郡議長会研修会
 - 定期監査
 - 佐久広域連合
 - 水問題検討委員会
 - 部落完全開放・人権擁護推進佐久地区大会
 - 佐久水道代表者会議
 - 議会運営委員会

編集後記

あの大震災、原発事故から間もなく一年。厳寒のなか、被災者の暮らしはいかばかりか。大震災を機に、生活スタイル、特に電力・エネルギーの使用に再考が始まっているのは、前向きの変化。

今、稼働中の原発は4基だけ。それで電力不足の話も無し。休止中の火

力発電の再稼働で間合うとか。

電力不足の報道は、原発必要のキャンペーンだったのかと、疑いたくなるけれど、どうあれ電力・エネルギー浪費型社会のあり方を、見直す時期に来ているのでは。

